

# リサイクル推進員News

発行: 東広島市生活環境部廃棄物対策課  
 TEL: 082-420-0926 FAX: 082-426-3115  
 E-mail: hgh200926@city.higashihiroshima.lg.jp

平素から本市廃棄物行政に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。  
 これは、リサイクル推進員の方へ向けての情報紙です。普段の活動の参考にいただければ幸いです。

## ご存じですか？東広島市のごみ事情

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	目標
市民一人1日あたりのごみ排出量	961g	947g	935g	921g	900g	850g以下 (令和6年度)
資源化率	10.0%	9.7%	15.5%	21.8%	22.2%	22.2%以上 (令和8年度)

皆様のご協力により、令和元年度以降、市民一人1日あたりのごみ排出量は減少傾向です。  
 令和元年度から令和5年度にかけて、**61g**減少しています。

資源化率については、令和3年10月に供用開始した広島中央エコパークの資源化推進により、令和3年度から大幅に向上し、皆様のご協力もあり、令和5年度は目標の22.2%に達しました。

引き続き、ごみ減量化・資源化推進活動にご協力をお願いします。

## 生ごみを減らしたい！そんな方へ

利用しやすくなりました！  
 ぜひご活用ください♪



ごみの減量を目的に、生ごみ処理容器等(コンポストや電気式等)を購入した**費用の一部を助成**します。  
 東広島市にお住まいの世帯主で、市税の滞納がなく、過去にこの助成金(旧補助金を含む)を受けたことがない、または受けたことがある場合は**必要な年数経過している**ことが条件です。

購入後、以下の書類を提出してください。(③・④は市の職員が確認することに同意する場合は提出不要)

①申請書兼請求書 ②領収書 ③住民票 ④滞納のない証明書 ⑤設置状況の様子分かる写真

<p>助成率</p> <p>1/2</p>	<p>コンポストや キエーロ</p>	<p>かばん型 コンポスト</p>	<p>限度額</p> <p>1万円</p>	<p>電気式処理機</p>	<p>小型剪定枝 破砕機</p>	<p>限度額</p> <p>3万円</p>
-----------------------	------------------------	-----------------------	-----------------------	---------------	----------------------	-----------------------

(購入後に助成金の交付対象外であると判明することを防ぐため、購入前に廃棄物対策課(☎082-420-0926)までご連絡ください。)

# 交付金(ごみ減量化・資源化推進事業)の活用方法

リサイクル推進員の皆さんに取り組んでいただき、交付金を活用した活動の例を紹介します。

## 1) 清掃及びリサイクルに関する情報の発信及び伝達に関すること

- 啓発チラシ作成及び配付にかかる各種費用
- 地区内での講演会の開催
- 分別等勉強会の開催

## 2) 資源物及びごみの排出方法、収集日及び集積所の清潔保持の啓発に関すること

- 資源回収ボックスやごみステーションに掲示する看板作成
- 資源回収ボックスやごみステーションの整備(新設や修繕)

## 3) 集団回収その他の自主的リサイクル活動の普及啓発に関すること

- 資源回収実施時の回収や分別作業
- 資源回収場所の整備
- 資源回収場所の維持管理

## 4) 環境負荷の少ない生活様式の普及啓発に関すること

- 地区内での貸出用生ごみ処理容器購入
- 清掃啓発に係る美化活動

いずれの活動も、活動を通じて、ごみの減量化・資源化の普及と推進につながるものが対象です。

### 【募集】

情報紙に掲載させていただける各住民自治協議会の活動を募集します。他の地域の参考となるような活動や地域独自のユニークな活動の報告をお待ちしています。

## 令和6年9月26日にごみ減量・資源化ワークショップを開催しました



### <ごみを減らすためにご提案いただいたアイデア>

- ・リサイクルショップの活用
- ・食べられる量だけ買う、作る
- ・市役所やスーパーなどの回収ボックスの利用
- ・冷蔵庫の中身チェック
- ・マイボトルの利用
- ・生ごみ処理機の利用
- ・過剰包装のものを選ばない …など

36名のリサイクル推進員の方に参加いただき、「ごみの減量化やリサイクル(資源化)に関する知識を得る」「地元で実施できるネタを持ち帰る」「他の推進員と仲良くなる(今後の交流のきっかけづくり)」を目的として、ごみ減量・リサイクルについての学習やグループワークを行いました。

リサイクル推進員の方には、今回のワークショップの内容を活かして、引き続き、各地域でのごみ減量と資源化活動の先導役をお願いします。